

2019年度 部活動活動結果

秋季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

運動部

陸上競技部

結果

男110mH 太田 彪真（2年）15秒16 優勝
男三段跳 西藤 我空（2年）14m49 優勝
男ハンマー投 御宿 一輝（2年）42m65 2位
男5000m 伴 遼典（1年）15分32秒04 2位
女5000mW 有村 麻友衣（2年）27分33秒33 2位
女走幅跳 池松 杏香（2年）5m36 2位
男4×100mR 西①-西藤②-椎野①-太田② 42秒59 3位
女4×100mR 山中②-田村②-池松②-濱田② 48秒98 3位

以上表彰台

男400mH 今井 悠介（2年） 4位
男1500m 伴 遼典（1年） 4位
男4×400mR 西藤②-太田②-今井②-壹岐① 4位
女200m 田村 香歩（2年） 5位
男円盤投 御宿 一輝（2年） 7位
男三段跳 幸田 稔也（1年） 7位
男400m 壹岐 元太（1年） 8位
女200m 濱田 りりあ（2年） 8位

以上入賞

入賞数が多く自己ベストを多くの選手が更新し良い結果となった。

チーム一丸となり、応援やサポートができた結果、史上最高位の男子総合3位という結果を得ることができた。次年度に向けさらに競技力とチーム力を高めるべく努力したい。

（講評 顧問より）

硬式野球部

序盤に相手にリズムをつかまれ、小刻みに加点されていったが、先発投手の岡本（2年）と捕手網谷（2年）を中心に大量失点を防ぐ。打線は伊吹高校の先発投手に抑え込まれるも

0-5の7回、2死1塁から廣岡（1年）が2塁打を放ちチャンスを広げると、続く西（1年）の2塁打と、井ノ口（1年）のセンター前ヒットで3点を返し2点差に迫る。

しかし、その裏に2つの四死球が絡み2点を追加されると、反撃も及ばず3-7で敗れた。

序盤の劣勢な雰囲気から2点差に迫る攻撃を見せるなど、新チームの課題であった部分での成長が見られた。また、1人ひとりが本当に大きな声を出し、チームを鼓舞する姿は頼もしく感じた。新チームが始まってからの1番の試合である。

今後は日ごろの練習から大会の雰囲気自分たちを追い込めるかが春以降の成績に関わってくることを自覚した姿勢を見せてほしいものである。（講評 顧問より）

令和元年度 秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会
対 伊吹高校 3-7（1回戦敗退）

テニス部 男子

シングルス予選

上嶋悠月 1回戦 vs 近江 6-1 勝利
2回戦 vs 東大津 0-6 敗戦
黒田 涼 1回戦 vs 立命館守山 1-6 敗戦
石崎翔吾 1回戦 vs 立命館守山 1-6 敗戦
小川慎介 1回戦 vs 近江 4-6 敗戦
北野歩夢 1回戦 vs 東大津 0-6 敗戦
三大寺隆空 1回戦 vs 堅田 1-6 敗戦
千代裕也 1回戦 vs 近江 0-6 敗戦
森 寛斗 1回戦 vs 玉川 7-5 勝利
2回戦 vs 膳所 6-4 勝利
予選決勝 vs 近江兄弟社 2-6 敗戦

ダブルス予選

上嶋・黒田 1回戦 vs 膳所 6-4 勝利
2回戦 vs 日野 相手棄権
3回戦 vs 水口東 3-6 敗戦
石崎・小川 1回戦 vs 近江兄弟社 4-6 敗戦
桂・千代 1回戦 vs 甲南 6-3 勝利
2回戦 vs 近江兄弟社 0-6 敗戦
三大寺・森 2回戦 vs 米原 2-6 敗戦

団体

1回戦 vs 八日市南 4-1 勝利
2回戦 vs 立命館守山 0-5 敗戦

シングルス、ダブルスともに、練習の成果がみられた部分もあった一方で、練習中に頻繁に見うけられていた「よくやるミス」もいろいろな場面でみられた。やはり普段の練習にて修正できていないことが、試合にも出てしまうと痛感した。

また、試合という緊張する状況のせいか、練習中に見られた良いプレーが影を潜めることが少なくなかった。練習における集中力や忍耐力、攻めか守りかの状況判断など、もっと試合本番を意識したものを行い、次の大会に向けて積み重ねていく。(講評 顧問より)

テニス部 女子

シングルス予選

荒木遥奈 1回戦 対立命館守山 6-4 勝利
荒木遥奈 2回戦 対光泉 6-3 勝利
林綾音 1回戦 対光泉 0-6 敗退
ブロック決勝
荒木遥奈 対膳所 4-6 敗退

ダブルス予選

荒木・林 1回戦 対国際情報
7-6 8-6 勝利
荒木・林 2回戦 対膳所
0-6 敗退

荒木(2年)は、シングルスは前回の県体ブロック決勝で勝利し本戦出場したが、僅差で敗れ本戦出場を逃した。次大会で本戦出場を目指す。林(1年)は、ダブルスで本領を発揮しタイブレークで勝利した。経験を積んでシングルスの一回戦突破を期待する。(講評 顧問より)

バドミントン部

団体戦

男子 2-3 湖南農業

女子（オープン参加）0-5 河瀬

男子は悲願の団体初戦突破を目指したが、惜しくも逃してしまった。高校からバドミントンを始めた生徒ばかりで、他校と戦えるようになってきた。

女子はオープン参加で草津東との合同チームだった。実力のある高校との対戦を楽しみにしていたが、惨敗した。次回に向けて努力を重ねる。（講評 顧問より）

バスケットボール部 男子

石部 49-60 堅田 2回戦 敗退

	石部	堅田
1Q	11	9
2Q	12	20
3Q	10	15
4Q	16	16

2回戦からの試合であったため、相手チームのスカウティングを行い、試合に臨んだ。試合序盤はこちらの思うペースで試合が進んでいったが、徐々に対応され始める。こちらのミスもあり、相手のペースへと移っていった。試合終盤まで反撃の糸口が見つからないまま試合が終わってしまった。3年生は最後まであきらめず、戦い続ける姿勢を下級生たちに見せてくれた。（講評 顧問より）

バスケットボール部 女子

石部 - 幸福の科学関西 2回戦 不戦勝

石部 38-94 草津東 3回戦 敗退

	石部	草津東
1Q	1	27
2Q	15	18
3Q	11	29
4Q	11	20

2回戦が不戦勝であったため、今大会、3回戦にして初めての試合となった。相手は優勝候補の草津東。若干の緊張感があったものの、臆することなく試合にのぞむことができた。ディフェンス面では、相手の高さとスピードに対して、日々練習してきたチームディフェンスで守り、簡単にはやられない粘り強さが発揮できた。オフェンス面では、24

秒の時間をしっかり使ってボールをつなぎ、戦術として身につけてきた動きがチーム全体で最後までやり抜くことができた。

結果的に点差はついたが、大きな怪我や体調不良もなく、3学年がそろってベストなコンディションで試合にのぞむことができたことは、チームとして大きな成果であった。（講評 顧問より）

卓球部

個人戦

伊東 修寿 1回戦敗退

田原 正徳 1回戦敗退

上田 悠月 2回戦敗退

ダブルス

上田悠月・田原正徳 1回戦敗退

夏以降、他校の協力により、合同練習を実施し練習を重ねてきた。悔しい思いをする結果となったが、結果に一喜一憂することなく、冷静に課題を把握し、今後活かしてもらいたい。（講評 顧問より）

バレーボール部 女子

予選リーグ

石部 0 - 2 近江
13 - 25
15 - 25

敗者復活戦

石部 2 - 0 日野
25 - 2
25 - 11

決勝トーナメント

石部 2 - 1 彦根翔西館
25 - 21
12 - 25
25 - 20

石部 1 - 2 滋賀学園
13 - 25
25 - 17
18 - 25

初日の初戦は春季総体優勝校。敗退はしたが、内容のあるいい試合をすることができた。敗者復活戦では、波に乗り切れなかったところはあったが、しっかり勝ち、決勝トーナメントに駒を進めることができた。

2日目の初戦は、練習試合のたびに悔しい思いをしてきた相手である。しかし、練習の成果をいかに発揮したことにより、悲願の勝利をおさめた。2戦目は初めての相手であったが、苦しい時も「我慢」をして、自分たちのバレーをし続け、フルセットを戦い抜くことができた。3年間の課題であった「メンタルの弱さ」を、試合を通して克服した瞬間は、バレーボールの素晴らしさを感じることができたはずだ。3年生は引退だが、今後は新たな環境でもその力を存分に振るって欲しい。（講評 顧問より）

文化 部

吹奏楽部

第40回滋賀県高等学校総合文化祭 吹奏楽部門

賞のつく大会ではない。（昨年度、全国総文の出場選考にエントリーしたため、今年度はエントリーできない。）発表のみである。樽屋雅徳作曲「トム・ティット・トット」を演奏。

少ない人数ながら、重厚な響きと歌心のある演奏であった、というお声をいただいた。

（講評 顧問より）

茶華道部

茶華道部は、2年生1名、1年生2名、引退した3年生4名の計7名で、外部顧問の指導のもと11月3日湖南市文化祭にて茶席を設けた。100人近くのお客様にお抹茶とお菓子を提供することができ、大盛況であった。

1年生は初めて人前でお点前を披露したり、お運びをしたりすることに緊張していたが、のびのびと日頃の練習の成果を発揮することができたようである。今回の経験を活かし、来年度の校内の文化祭ではより活躍できるようになることを期待する。

2年生と3年生も自分の役割をしっかりと自覚し、後輩のフォローをしながら堂々と茶席に立つことや裏方での手伝いができていた。（講評 顧問より）